

水系・・・でも、強力防錆プライマー

ミツチャクロン WP・X

難密着素材にも塗装可能 コンクリートの下塗りに 作業性抜群の一液型

【ミツチャクロン WP・X】は、水系エポキシ樹脂をベースとした一液速乾型プライマーです。電気亜鉛メッキ、アルミニウム、ステンレス、溶融亜鉛メッキ、銅板、黒皮被膜等の密着の難しい金属素地面はじめ、コンクリート面、耐溶剤性の悪いアスファルト面、発錆面、活性塗膜（一部除く）と幅広い被塗面に使用することができます。



右：16L 左：3.7L

色調 クリヤー（乾燥前は乳白色）/ ホワイト / ブラック

目的 車両、構造物防錆、一般建築塗装、工業塗装下地

用途

- 車両、金属加工品の防錆塗装
- コンクリート、モルタル、アスファルト面の浸透補強
- 食品工場、公共施設等の内装用塗装
- 溶剤臭等で溶剤系塗料が使用できない場所

使用方法

【素地調節】

被塗面の油分・汚れ・水分・ホコリ等を完全に除去してください。不活性塗膜は完全に除去してください。被塗面がシリコン系塗装、フッ素塗料、撥水剤コーティング面は、被塗面を研磨する等をし、撥水層を取り除いてください。

【下塗り】

ミツチャクロン WP・X は、ダブルコートで、被塗物から15～20cm程度離し、薄く均一に1回～2回塗布してください。薄膜で十分な強度が得られます。

口径 1.0mm のスプレーガンで 80～100g/m² 膜厚は 10～12μm 程度が目安です。

刷毛・ローラーの場合、上記の2倍程度の塗布量になります。できるだけ刷毛・ローラーをしながらミツチャクロンを塗装してください。

※使用後の容器、工具類などは、水で洗浄してください。スプレーガンは、まず水でよく洗浄し、その後アルコール・ラッカーシンナーで再度洗浄してください。

【乾燥】

塗布面の白濁状態が完全に無くなり、被塗面（素地）が透けて見えるまで乾燥させてください。その後、常温（20℃）で1時間以上の乾燥時間を取り上塗り塗装をしてください。温度の低い時（5℃以下）、高湿度の場合は、十分な密着力が得られない場合があります。その場合は前もって被塗面を温めておくか、塗装後温めるようにしてください。

【上塗り】

使用する上塗り塗料の仕様に従って塗装してください。※強溶剤を使用する際は、一度に厚塗りをしないでください。

注意点

- クボミ部分に溜りが生じないように、均一に塗布するようにしてください。
低温時（5℃以下）の場合には、十分な密着が得られない恐れがあります。その場合には、一度被塗面を温めておく（20～30℃）、乾燥時間を長くとり等、塗装条件を考慮してください。
- コンクリート、モルタル、珪カル板等、多孔面に塗布する場合には、一度に厚塗りせず常温（20℃）、湿度 60% で 15～20 分のセッティングタイムを取り、薄く二度塗りを行い、ダスト処理後塗布量を 2～3 回に分け、通常より厚めに乗せ、乾燥時間を長く取るようにしてください。
- 強溶剤タイプの塗装を使用する場合（特に刷毛、ローラー）には、一度に厚塗りせず溶剤が抜け易い膜厚にし、塗り重ねてください。（塗料によりリフティング時間帯の違いがあります。塗り重ねには注意して行ってください。）
密着力は、継時後強力になります。（特に溶融亜鉛メッキ、電気メッキ等は乾燥膜になるまでに時間がかかります。）
- 被塗面温度が 50℃ 以上の場合には、均一な塗り肌が出にくくなりますのでご注意ください。
- 塗装後、被塗面が長時間 60℃ 以上になる場所では、塗料により塗面軟化が起こる事があります。作業条件、場所を確認するようにしてください。
- 屋外塗装に使用する場合は、上塗り塗料は二液性を使用してください。

特長

- 臭いが少なく、一液型で抜群の作業性
- ペーパー研ぎが不要で作業時間の大幅短縮が可能（一部を除く）
- 二液性ウレタン塗料、長油性合成樹脂塗料、水系アクリルシリコン塗料、アクリルラッカー等、幅広い塗料の下塗りに使用できる
- 各種金属面、錆面の浸透防錆下塗りとして使用できる
- コンクリート、モルタルの浸透補強※塗布量は標準使用量の 2 倍
- アスファルト面（乾燥後）に使用できる*
- 耐溶剤性の悪い被塗面のシーラー性*
- スプレーガン、刷毛、ローラー使用ができる
- 既調合タイプ

※使用前にお問合せください。

■塗装可能な被塗物と密着性

◎=最適 ○=適

素材との相性や適正な上塗りについて		ミツチャクロン WP・X
被塗面との密着性	アルミニウム(※1)	○
	アルマイト加工品	○
	ステンレス*1	◎
	ガルバリウム	◎
	銅	○
	スチール	◎
	カラータン	◎
	焼付塗装塗膜	◎
	電着塗装塗膜	◎
	化成皮膜処理物(※2)	◎
	亜鉛メッキ(※3)	○
	クロムメッキ	○
コンクリート・モルタル	◎	
適正な上塗り	1液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	○
	2液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎
	2液反応硬化型アクリルウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎
	1液型エポキシ塗料	○
	2液反応硬化型エポキシ塗料	◎
	アクリルラッカー塗料	○
	反応硬化型水性塗料	○
	アクリルエマルジョン	○
合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	○	

表記中の記載内容は、気候や、素材の状態、作業環境等によって変化する可能性があります。作業中にご参考いただく一資料としてご利用下さい。

※1 アルミダイキャスト・アルマイト加工品及び、磨きステンレス等、一部密着性が出にくい物があります。

※2 ラッカー塗料は厚塗り厳禁

※3 表面処理後、酸化被膜を形成後に塗装可能

●密着の難しい素材へのテストは、広範囲に繰り返し行い、優れた結果は記載の通りですが、新しい素材も次々と開発されており、経験のない素材へのご利用は念のため試験をするか、お問合わせください。

●被塗面処理にフッ素・シリコン等、撥水性の処理がされている場合には、密着性の出にくい物が一部あります。塗装前に御確認ください。

■性状

項目	性状
容器内の性状	乳白色
比重	0.9
標準塗布量	10~15 μ 80~100g/m ²
作業性	吹付、刷毛塗り、ローラー塗装いずれも可
指触乾燥	15分(気温20℃)
上塗り可能時間	自然乾燥1時間以上(気温20℃)
貯蔵安定性	12ヶ月間異常なし(気温20℃)

■ミツチャクロン WP・X 標準仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方
1. 素地調整	塗装面の汚れ(サビ、油、水分、ホコリ)を溶剤、サンドペーパー等で除去
2. 下塗り	ミツチャクロン WP・X を塗布、塗布量は80~100g/m ² 、塗装方法は、スプレー、刷毛、ローラー可
3. 乾燥	夏: 1.5~2時間、春秋: 2~2.5時間、冬: 3~4時間時間
4. 上塗り	個別上塗りの仕様により塗装

■塗膜性能試験データ

項目	性状	結果
付着性	1mm×1mmのゴバン目セロテープテスト	100/100
屋外暴露	4000時間、二次密着、100/100	異常なし
耐衝撃性	Dupon式 500g 50cm	合格
耐水性	20℃水道水 240時間	異常なし
耐アルカリ性	2%水酸化カルシウム水溶液 24時間	異常なし
耐酸性	2%硫酸水溶液 24時間	異常なし
耐熱性	100℃ 20分 加熱	異常なし

被塗面: SECC(鋼板)

上塗り: ウレタン塗料

塗装工程: ①素地調整 シンナー脱脂

②ミツチャクロンWP・X薄く均一に塗布

特約販売店